

特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園・教育支援部 2015.5.19 第59号

最近思うこと…

新年度がスタートして、2ヶ月が経とうとしています。

子どもたちも、新しいクラスや生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。

新しい出会いは、わくわくすると同時にこの先にどんなことが待っているんだろうという不安も少なからずあります。それは、子どもも先生も同じですよ。一緒に活動したり、コミュニケーションをとったりする中で少しずつ分かり合い、お互いに自分らしさを出していけるようになるのだと思います。

先日参加した研修会で、「居場所と出番と根気よくかかわること」という言葉を教えてもらいました。短いけれど、すごく大切なことが凝縮されているなぁと心に残りました。「このクラス（またはグループ）に、この子の居場所はあるかな？」「この子が活躍できる出番はあるかな？」「（それを一回で判断するのではなく）、子どもの様子を見ながら根気よくかかわることができているかな？」研修会に参加してからは、子どもたちと接する際に、それを頭においてかかわるようにしています。

また、以前研修会でお話させていただいた小学校の先生から、「先生のお話を聞いたら、子どもの見方が変わった。見方が変わったら、言葉がけが変わった。言葉がけが変わったら、子どもが変わった。」という言葉の後日いただきました。もちろんつたない私の話を聞いて、そう思って実践してくださった先生のセンスが素晴らしいのですが、私はその言葉にも教えられました。

日々子どもたちとのかかわりの中で、子どもたちから教えてもらうことはたくさんあります。でも、たまたま参加した研修会、たまたま聞いたお話の中で、自分の教育観に大きく影響を与えるような「宝石のような言葉」に巡り合えるときもあります。自分から手を伸ばして求めていると、そんな言葉や考え方に触れる機会をたぐり寄せることができるのかな？と、最近は思っています。

一緒に勉強しませんか？

本年度も伊賀つばさ学園は、「一人ひとりの個に応じた教育が行き届き、家庭・地域に信頼される学校」をめざして、学校経営を進めていきます。また、伊賀地区唯一の特別支援学校として、様々な関係機関や保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校と連携・協働して特別支援教育のセンター的役割を果たしていきたいと考えています。

その一環として、毎年この号でご案内している本校の「グループ研修」について、今年は少し掘り下げて紹介したいと思います。



本校では、月 1 回程度、職員が各自希望した研修グループに参加して研修を進めています。今年度は 9 つの小グループに分かれて行います。同封いたしました「グループ研修のご案内」にも、簡単な内容は挙げてありますが、ここでも各グループからの自己 PR を掲載します。ご覧いただき、興味ある内容のグループがありましたら是非ご参加ください。

グループ名	内容	場所
①途切れない支援	就学前から卒業後まで、子どもたちに途切れない支援ができるよう、みんなで勉強します。 名張市・伊賀市のどこにどんな機関があって、どんなお仕事をしているのか、どんなサービスが利用できるのかなど、関係機関の方をお招きしてお話を伺ったり、自分たちで文献や法律を調べたりしていきたいと思います。	図書室
②福祉情報	今年から卒業後に就労系障がい福祉サービスを利用する場合、アセスメントを受ける必要があります。その内容や流れ、対象となる事業所についての詳細や、生徒の進路を取り巻く環境について研修していきます。	101 教室
③ipad による学習支援	今までの経験を出しあったり、インターネットで調べたりして、「ipad による学習支援の可能性」について探ります。	パソコン室
④健康&体力づくり	健康&体力づくりでは、様々なスポーツを行います。バドミントンやソフトボールなど、誰もが知っているスポーツだけでなく、グランドゴルフやボッチャなどのスポーツにも挑戦する予定です。	体育館
⑤作る	個人用のゴミ箱、パソコン台などを木材で作ります。簡単な図面を作り、道具の使い方を練習後、本番の品の制作をします。	木工室
⑥食育	調理活動を通じて、ほっとするひとときを共有しようと思います。季節に応じた簡単クッキングを考えています。	調理室
⑦ポルトガル語	今年度、ブラジル・ポルトガル語を使う児童生徒がつばさ学園に仲間入りしました。日常の生活から学校で使えるフレーズまで、コミュニケーションの楽しさを目指し、勉強します。	被服室
⑧表現	音楽、美術のことを中心に、みんなが楽しく取り組めるものを考えました。 絵の具、粘土、太鼓、表現活動と、内容は盛りだくさんです！みんなで楽しく、今後の授業で使える研修にしていきたいです。	音楽室＋美術室

⑨発達障がい	発達障がいのある人々の視点に立った内容の DVD を見る機会を何回かもち、その中からみえてくることを話し合いながら、児童生徒にどのようにかかわっていったらよいかを、みんなで考えていきたいと思っています。	理科室
--------	---	-----

「グループ研修のご案内」を同封させていただきましたので、開催日や参加申し込みの詳細についてはそちらをご覧くださいと思います。よろしくお願いします。



主な行事（1 学期）

- ・ 5/23(土) スポレク集会
- ・ 6/ 2(火) グループ研修
- ・ 6/10(水) 公開体験授業（小学部）
- ・ 6/16(火) 学校見学会（詳細は別紙案内参照）
- ・ 7/ 7(火) グループ研修
- ・ 7/10(金) つばさ手作り市（高等部）
- ・ 7/22(木) 終業式

「学校見学会、研修会のご案内」

【学校見学会】

6 月 1 6 日(火)に本年度の学校見学会を予定しています。個別にお話をさせていただく時間は確保できませんが、本校の施設や各学部の授業を見学いただき、伊賀つばさ学園のことを少しでも知っていただこうと考えています。

別紙にて詳細・申し込みについて案内させていただきますのでご覧ください。

【夏季公開研修会】

本年度の夏季公開研修会では、8 月 1 8 日(火)13:30～岐阜特別支援学校教諭 地域支援センター長 神山 忠先生を講師にお招きして講演会を計画しています。神山先生は、ご自身が学習障がいの特性をもち、学齢期からさまざまな困難と、それを乗り越える作戦を模索して生きてこられました。学習の困難さだけでなく、いじめ、非行、不登校などを経験したことを現在の教員生活に生かしてご活躍されています。また、「自分のように勉強が苦手な子の気持ちが分かる教師になり、自分が体験したつらい思いをさせない教育を」と、日々精力的に相談活動、講演活動に飛び回っておられます。

支援の方法や手立てを考えるには、障がい特性の理解、児童生徒理解が必要不可欠です。

神山先生のお話を伺う中で、子どもたちにとっての真の意味での支援を考えていきたいと思っています。

詳細・申し込みにつきましては、次回の特別支援教育だよりで案内させていただきます予定です。

【つばさ学園職員研修（グループ研修）】

つばさ学園の職員研修ではありますが、地域の学校等の先生方にも参加を呼びかけて、共に研修し、子どもを見つめる視点を高めあっていきたいと考えていますので、別紙案内をご覧くださいの上、多数ご参加ください。

公開体験授業について

今年度も、公開体験授業を実施します。参加していただく際の手続きの仕方は、本校のホームページに載せてありますので、詳しくはそちらをご覧ください。また、不明なことがありましたらご遠慮なく、お電話にてお問い合わせください。

参加を希望される方は、所属する園・小学校から、依頼文書を本校にお送りください。

１０日前までに、本校必着でお願いします。

依頼文書は、つばさ学園ＨＰからダウンロードできます。また、４月に配布した「教育支援事業Ｑ＆Ａ」にも様式３として載せてあります。

本校より電話にて、参加されるお子さんの様子をうかがい、グループ所属を決めます。

ご要望があれば、電話でお伺いします。

当日体験していただくクラス・グループ等をお知らせしますので、日程に沿って体験授業にご参加ください。

公開体験授業担当者 小学部 辻之上 仁（６７－１１０６）

中学部 臼井 教子（６７－１１０７）



【編集後記】

今年度も特別支援教育だよりを発行し、本校の取り組みや様々な話題を提供していきたいと考えています。また、「こんなことが知りたい」などのご意見もいただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いします。

教育支援部 知花 敬子 TEL0595－67－1106